

### 3. 先々月・先月の両園地探鳥会

**①くろんど園地(11月)** くろんど園地に入る吉向松月窯の手前でエナガ、シジュウカラを見ていたところ、上空を飛ぶ大きな鳥を斉藤さん・近藤さんなど4~5名の方が観察されました。最初アオサギかと思われましたが白くて羽根の下面の白黒がはっきりしていたことからコウノトリとなり、交野市初認の鳥となりました。

**②ほしだ園地(12月)** 私市集落でモズ・イソヒヨドリ、天野川沿いでカワセミ・セグロセキレイ・ビンズイ、山地の遊歩道でルリビタキ・ジョウビタキ、アオジが出てくれた。園地に入ってピトンの小屋周辺でハヤブサ・ノスリ、さらにやまびこ広場からの帰り道でアオゲラの声、そして姿も確認しました。

尚、鳥インフルエンザが拡大し、飼い鳥だけでなく野鳥に影響が出ていること、しかも淀競馬場でコブハクチョウが死亡した。交野市に近い淀川水系のカモはウィルス保菌者と思われるので、カモ観察後は鳥インフルエンザ対策が必要である。

### 4. 日本野鳥の会大阪支部からのお知らせ

#### ①北河内・定例探鳥会の(2017年2月度)案内

1月中旬からの冷え込みで平野部に鳥が増えているようです。寒さ対策を充分にして鳥見に行きませんか。

曜日 (月日)	場所	集合時間・場所
第1(日) (2/5)	牧野(淀川)	9:00京阪牧野駅穂谷川堤防
第2(日) (2/12)	山田池公園	9:30 現地公園北入口駐車場
第3(土) (2/18)	緑の文化園	9:00JR学研都市線四条畷駅東口

**第4(土)(2/25) ほしだ園地 9:30京阪交野線私市駅前**

#### ②日本野鳥の会入会時の会費

会員区分 (内容)	おおぞら会員 (本部+支部)	赤い鳥会員 (支部のみ)	むくどり会員 (支部・但し1年のみ)
年会費	7500円	3500円	1000円
入会金(初年度のみ)	1000円	1000円	—
会報 隔月刊(支部)	「むくどり通信」 月刊(本部)	「むくどり通信」 「野鳥」	「むくどり通信」 —

#### ③ 探鳥会参加費 (探鳥会保険・資料代に充当)

会員 100 円、非会員 200 円、高校生以下無料

(交野野鳥の会会員で、日本野鳥の会に未入会の方 200円お願いします。)

**「ころんで痛いのは自分、怪我しないよう自己管理」を**

## 府民の森 “くろんど園地” 探鳥会

(毎月第4土曜日 両園地通算第205回)

平成29(2017)年1月28日(土) 9:30~15:00

日本野鳥の会大阪支部 平軍二(090-6901-1425)  
友田武・神戸徹・小田原正明・斉藤健

### 1. 交野市の鳥シリーズ(65) ジョウビタキ

両園地での定例探鳥会は、18年目に入りました。交野の方、遠方の方など多数の方々の応援を得てここまで続いたこと、感謝感謝です。

今月の鳥は河村壽さんが1/17、交野バードに公開されたジョウビタキにしました。先月のルリビタキとともに、冬の両園地探鳥会の人気者の一つです。



ジョウビタキはチベットから中国東北部、沿海州、バイカル湖周辺で繁殖し、非繁殖期は日本、中国南部へ渡り越冬します。日本で稀に繁殖記録があるようですが、大阪近郊では見るのはすべて越冬個体と思われます。

ジョウビタキは愛らしい上、人懐っこい鳥で、数mまで近寄ってくることや、人に気づいても遠くへ飛ばないことから、一度見つけると、ずっと観察し続けることができるのも人気の理由かもしれません。

民家の周り1羽ずついて、車のバックミラーに映った自分を侵入者と間違えて、鏡をつつくほど縄張りの強い鳥である。

ジョウビタキは、昆虫やクモなどのほか木の実が好きで、住宅地内ではピラカンサ・ヘクソカズラなどの実、山地では先月のルリビタキ同様、ヌルデなどの実に来ます。

#### 水辺の探鳥会・先月に続いてのお願い(鳥インフルエンザへの配慮)

今年是全国で鳥インフルエンザに罹患し、死亡している感染例が相次いでおり、注意が必要になっています。野鳥や家畜の鳥インフルエンザが人に伝染したという報告はないようですが、カモなど鳥の糞に混入しているインフルエンザウィルスが、他の場所へ運ばれ、ニワトリなどに伝染することを警戒しているものです。

- ・糞の落ちている水辺に近づかない。
- ・水鳥探鳥地を離れるときに、靴底・三脚の足などを消毒する。
- ・鳥の死体を見つけたら、鳥の異変に気付いたら→大阪動物愛護畜産課 06-6210-9619へ

